

令和3年度 第4回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

歌壇

寺尾 登志子 選

特選

除夜の鐘の音の向かうを篝火は飽くまで照らせ壬寅も

本駒込 岡本 千晶

夜来の雨去りゆく庭の草むらに小さき花背のびして咲きをり

千駄木 石井 禮子

ときをりにランチしませうの電話くることし卒寿のもとご近所さん

本駒込 唐木 よし子

入選

たくさんの柚子届けらる我が柚子を丸坊主にせし揚羽の礼か

千 石 菊地 正矩

手を伸ばし力を抜いて真っすぐに心に命じ水中泳ぐ

水 道 菅井 茂子

柚ジャムを煮た日は暮れても家中に香りあふれて心もたのし

千駄木 上杉 紀世子

朝日射す屋根に落ちたる桜の葉秋の名残りの斑朱映ゆ

小日向 内野 仙也

古希超えて喜寿さえ既に見下ろせる時の流れに拍車がかかり

白 山 長濱 直

ふるさとの香り漂う岩しみず川藻ゆらゆらいにしえゆらり

本 郷 高木 洋祐

櫨・楓・灯台躑躅紅葉の錦に出合ひし蛛道

本駒込 水口 幸子

令和3年度 第4回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

佐怒賀 正美 選

特選

行く人の肩竦めてや羽子日和

向丘 丸岡 正児

迎春の絵馬五萬枚神ひとり

本駒込 横塚 敏子

焼芋を温め直す守衛かな

千駄木 仲 綾子

入選

雪まみれ赤き尾灯の深夜便

千石 菊地 正矩

観音が疫鬼をなだむ春を待つ

本郷 町田 菊男

冬蜂の眼に映る街明かり

大塚 奥山 興悦

日脚伸ぶ自転車習ひ続ける子

小石川 島村 若子

返り花なれど大輪つぎつぎと

大塚 池田 きぬ子

お馴染の店先を借り飾売

千石 大石 坦

蹲踞の水飲む猫や初詣

小日向 内野 仙也